

一般質問



- ・23年度の施政方針に掲げた目標の達成度はどう検証されたのか
- ・農政について
- ・第29回国民文化祭・あきた2014の取り組みについて
- ・職員の派遣及び人事交流について
- ・震災廃棄物について

翠巒会 荒木田 俊一 議員

23年度施政方針の達成度は

質問 23年度の施政方針に掲げた目標を大別すると次の4点と考える。

- ① 地域に活力を取り戻す
 - ② 医療・福祉環境の構築
 - ③ 市民所得の向上
 - ④ 高齢者と子育て支援
- 以上の目標達成度の検証と、23年度を振り返り24年度の施政方針にどう生かされたのか伺う。

答弁 ①最大の原因は人口の減少にあると考える。定住対策については、さまざまな施策を講じているが決定打を打ち出せない状況にある。

一つの手法として地域運営体や各団体と協働理念のもとに施策を進めているところである。

②医師不足の解消や病院健全経営が見える形で示すよう最善の努力をする。

高齢者生活実態調査に基づき、新たに多くの活動が展開されている。

③産業振興基本条例が制定され、土台ができた状況にある。この条例を生

かし、六次産業化の推進等に努めていく。

④予防医療の観点から、後期高齢者短期人間ドックの助成や公共交通の利便性向上の施策等を行っている。

子育て支援対策では角館保育園の増築や保育サポーター事業等である。

24年度の施政方針であるが、市民の経済基盤を強固にしていくために総体的な総力戦が必要と考える。

農政について

質問 所得を向上させるプロセスを明確にさせる必要性の考えを伺う。

答弁 市が目指すべき農林業の姿や振興策を明記した計画書が必要と考えているが、激変する農業情勢も注視しながら策定時期の判断が必要と考える。

質問 個別所得補償経営安定推進事業のマスタープラン作成の進め方によっては集落内で軋轢^{あつれき}につながる恐れが心配される。また、検討委員会の構成メンバーに3

割以上の女性委員を入れることになっているが確保は可能か。

答弁 地域農業の将来問題を解決するために、市が調整役になり地域将来の指針として活用できるものを今年9月ごろまで策定したい。

検討会のメンバーには女性農業者にも委員の承諾をお願いしていく。

質問 種苗交換会開催の主たる目的は産業の活性化、起爆剤としての取り組みなのか、あるいは経済の波及効果に期待しての開催なのか伺いたい。

答弁 開催の目的は特定的に絞られるものではなく、農業関係者の生産意欲や技術の向上であったり、地域経済の活性化、起爆剤にもなると考えている。

国民文化祭の取り組みは

質問 県の基本構想が発表されているが、当市の取り組み状況及び実行委員会の設置、計画(案)策定と開催に当り施設、設備環境は対応で

きるのか。

答弁 各エリアに分け事業提案をしており、積極的に取り組んでいきたい。

実行委員会は県が立ち上げた以降、市でも立ち上げる。開催会場については想定施設の安全対策を重視していく。

職員の派遣及び人事交流について

質問 職員が県を初め各機関に派遣され人事交流が行われているが、効果をどう検証しているのか。

答弁 県、市が抱えている問題を的確に把握し、分権時代を担う管理職員に必要な能力を身につけることが目的となっている。

質問 市とJAの派遣期間が違う。1年に満たない期間だと一連の流れの研修にならない。また、交流後の人事配置についても、研修を生かし、スキルをあげていくというのが妥当かどうか。

答弁 24年度は派遣期間を1年間と想定している。

災害廃棄物の受け入れについて

質問 説明手順、資料等に準備不足の感があるが、市として十分と捉えているのか。また、今後の具体的な進め方を伺う。

答弁 県や国の対応の不確定要素などがあり十分な説明が出来なかったことを反省している。

受け入れ廃棄物の種類は基準に基づき安全性が確保される不燃物系で最大2年間で一万二千㎡としている。

市が単独で行う空間放射線量の測定データを逐次情報発信していく。

(小林幸悦 記)



仙北市でもこの賑わいを作らなければ

一般質問



・税の不正処理問題について

仁政クラブ 安藤 武 議員

住民の知る権利

質問 会は門脇市長以前にもありながら、疑惑の究明なしでは市民の市政に対する信頼回復は、あり得ないと真相解明に向け、これに英断を下した市長、その任務を遂行された石山前副市長は絶賛に値するものだ。

質問 市民の多くが市政に落胆し、怒りを感じていることは私の性格でも日々耐えることが出来ないほど辛い。この事案では、血がにじむ思いで成し遂げた市町村合併が崩れるという危うさを感じた。

質問 合併当初から不正処理の発覚はなかったのか。

質問 今回の一連の事案については投書があるまで認識はなかった。

質問 30年間の付き合いをいいただいた行政の大先輩である。一点の曇りもなく、物事を曖昧にすることを嫌い、本当に高潔な人物だった。

質問 この不正処理は石山氏の、行政マンの哲学に反した行為である。全力で地域づくりに取り組み、新生仙北市として、負のイメージの脱却を図りたい。

質問 市民の反響をどうとらえているのか。

質問 市民の多くが市政に落胆し、怒りを感じていることは私の性格でも日々耐えることが出来ないほど辛い。

質問 合併当初から不正処理の発覚はなかったのか。

質問 今回の一連の事案については投書があるまで認識はなかった。

質問 30年間の付き合いをいいただいた行政の大先輩である。一点の曇りもなく、物事を曖昧にすることを嫌い、本当に高潔な人物だった。

質問 この不正処理は石山氏の、行政マンの哲学に反した行為である。全力で地域づくりに取り組み、新生仙北市として、負のイメージの脱却を図りたい。

質問 市民の反響をどうとらえているのか。

質問 不正が発生しての接触はあったのか。

質問 当時の各町長からは、二度と起こらないように対策を講じなければいけないとアドバイスを受けた。

質問 処分に対して不服はなかったのか。

質問 今回の処分については不服はなかったものと理解している。

質問 この処分を下した責任者として、重い十字架を背負ったと思っている。人さまと同じように畳の上で死んではいけない人間なのかと思っている。

質問 まだ確定していない所得税と交付税に遅延加算金が発生するののか。

質問 遅延損害金、加算金の発生については、総務省と国税局の判断に委ねるしかないと考えている。

質問 職員、OBを含む返還金の内容と、全員の協力は得られるのか。

質問 市民の反響をどうとらえているのか。

質問 不正が発生しての接触はあったのか。

質問 当時の各町長からは、二度と起こらないように対策を講じなければいけないとアドバイスを受けた。

質問 処分に対して不服はなかったのか。

質問 今回の処分については不服はなかったものと理解している。

質問 この処分を下した責任者として、重い十字架を背負ったと思っている。人さまと同じように畳の上で死んではいけない人間なのかと思っている。

質問 まだ確定していない所得税と交付税に遅延加算金が発生するののか。

質問 遅延損害金、加算金の発生については、総務省と国税局の判断に委ねるしかないと考えている。

質問 職員、OBを含む返還金の内容と、全員の協力は得られるのか。

質問 市民の反響をどうとらえているのか。

質問 当事者、原因者な輪にOBの方々にも参加していただき、協力している。

質問 最終的には法的な手段に訴えることは断念した。

質問 法的な論拠に基づいた行動を取る局面が来るかも知れない。

質問 最終的には法的な手段に訴えることは断念した。

質問 法的な論拠に基づいた行動を取る局面が来るかも知れない。

質問 最終的には法的な手段に訴えることは断念した。

質問 法的な論拠に基づいた行動を取る局面が来るかも知れない。

質問 最終的には法的な手段に訴えることは断念した。

質問 法的な論拠に基づいた行動を取る局面が来るかも知れない。



辞任のあいさつをする前石山副市長

(田口寿宜 記)

用語解説

調定額…歳入の内容を調査して収入金額を決定すること

乖離…本来は密接にあるべき二つのものが離ればなれになっていること

一般質問



・国のスポーツ基本法の制定に基づく本市の総合型地域スポーツクラブの取り組みについて
 ・再度デュアル・モード・ビークル（D・M・V）について

民政会議 狐崎捷琅 議員

国のスポーツ基本法の制定に基づく本市の総合型地域スポーツクラブの取り組みについて

質問 昭和36年に制定されたスポーツ振興法が50年ぶりに改正され、スポーツ基本法という法律が制定された。この「スポーツ基本法」の大きな柱に生涯教育がありそれを推進していく上で、総合型地域スポーツクラブの育成が急務とされ、現在秋田県各市町村に最低一つの総合型クラブが作られている。

本市では、次の目標である中学校区1つの設立に向けて努力していることは承知している。ただ、未だ、仏作って魂を入れていない状況が目立つ。これからは量から質へ向かわなければならぬ。折角住民が立ち上がった総合型クラブを作っているのに、もう少し街づくりの「協働」の精神に立って市が努力してくれればと思う。

その観点に立って質問したい。

①西木の西明寺地区にN

PO法人アクアスポーツクラブが総合型として立ち上がったが拠点場所が難航しているようだがどうなっているか。

②総合型のキーワードは多世代・多種目・自立自立であるが、西木（松木内地区）の総合型クラブの自主・自立運営に對してどのように関わり、どの指導しているか。

③神代中学校地区の総合型取り組みの見通しは？

答弁 総合型スポーツクラブの育成についてはスポーツ推進基本計画の中で生涯スポーツ社会の実現に向け、各市町村が最低一つの設立目標を掲げ取り組んできた。

本市においては、次の目標である中学校区に一つの目標を掲げ、現在、田沢湖、角館、西木（西明寺、松木内）に設立されている。

①西木地区のアクアスポーツクラブの活動拠点の隣の体育館と棟続きの保健センターを考えている管財と相談して住民が使いやすいように取り組

みたい。

②松木内地区の総合型については地域住民の自主運営に向けた体制づくり支援、多世代にわたり誰もがいつでも参加できる環境作り支援を行い自主運営できるように支援していきたい。

③神代中地区については、設立に向けて現在取り組みの準備中である。総合型スポーツ調査検討委員会での意見調整を図りながら設立していきたい。

再度デュアル・モード・ビークル（D・M・V）について

質問 前にも一般質問で述べたが今回は、私連会派がDMVの実証実験を終えた富士市を視察しその結果を踏まえ質問する。DMVについては、テレビ等でみかけた方もいると思うが要するに線路も道路も走れるマイクロボスのことである。

このマイクロボスを内陸線に導入することの提案である。内陸線導入により次の2つの利点が考えられる。

その1点目は、乗客の少ない時間帯に内陸線を走らせることにより経費の節約になるということである。このDMVは、14人乗りから28人乗りまであり3台の連結が可能である。

その2つ目は観光に利用できることである。

例えば角館から田沢湖を回って田沢から上松木内を回って角館に戻るコースや上松木内から鷹巣方面へのコース、途中観光地を車で行くことも出来る。また田沢で乗った人は病院までそのまま行く観光と生活を連絡する方法も考えられる。

DMVの富士市の資料を市当局議員各位にお渡ししているが、わが市でも実証実験をやってみるつもりはないか。

車両は北海道JRで貸し出して年間2千万円である。

答弁 DMVの導入はご提案のように新しい輸送サービスの展開が考えられる。毎年改良しているそうだがそのメリット、デメリットをよ

く検証しなければならぬが内陸縦貫鉄道の取締役としても大きな期待を寄せている。

乗入れは踏切から可能で乗り入れには5分、出るには2分で出られる。

質問 インターネットの動画でも見られるので見てほしい。

現地できつちり視察された方々のご意見は大変面白いものを受け止めている。ぜひ、検討していきたい。

答弁 現地できつちり視察された方々のご意見は大変面白いものを受け止めている。ぜひ、検討していきたい。

（門脇民夫 記）



実証実験で富士市を走っているD・M・V

一般質問



・市長のマニフェストの検証について ・職員研修と職員の融和について

日本共産党 高久昭二 議員

市長のマニフェストの検証について

質問 門脇市長は市長選時、マニフェストを掲げ、特に所得の10%アップは先の東日本大震災で見通しが付かず、凍結せざるを得ないのではないか。

答弁 東日本大震災で地域経済に深刻な状態に陥ったが、所得アップ対策は今でも一番重要な実施すべき課題である。

質問 小坂町、三種町まで医療費を無料化することで、より子育て支援になるのではないか。

答弁 中学校卒業まで医療費無料化については、財源確保、制度のあり方を含め、前向きに検討していきたい。

質問 先のマニフェストでは地域公共交通システムの確立、ライフラインの充実が掲げられている。平成25年度県補助金削減に伴い、平成24年度から羽後交通松木内線を廃止することになったが、同バス路線維持を求める有志の会が西

木町人口の約5分の1の署名(1,300名)を集め、市長と交渉を重ねた。

1月21日西木町かたくり館説明会で松木内地区からバス2台で動員をかけ賛成するやらせの発言があったと思うが、公平で透明な市政を求めることと相反する手法ではないか。また、鎧畑線は新年度市費で運行継続すると聞くがどうなのか。

答弁 4月1日から羽後交通松木内線、岡崎院内線を切り替え、デマンド型乗り合いタクシーを導入する方向で昨年7月から地域住民と意見交換会を踏まえ決定した。

羽後交通バス路線存続を求める有志の会から1,000人超える署名簿、要望書を戴き、大変重く受け止めている。不便地域を解消し、ど



試験運行が始まったデマンド型乗り合いタクシー (下鎌川)

こでも公平に移動できる手段として、デマンド型乗り合いタクシーの試験運行を実施し、必要な見直しをしていきたい。特にやらせの発言はさせていない。

田沢湖鎧畑線は乗車密度2、5で県補助金対象は3以上となっている。

職員研修及び人事異動と市職員の融和について

質問 当市も例年職員研修を実施しているが、最大の視点は市職員が市民全体の奉仕者という点である。昨年東日本大震災時、宮城県南三陸町女子職員の方が最後まで声をからし住民の避難誘導に尊い命を犠牲にされた。又、人事異動、職員間の融和については合併し7年目を迎え異なる旧町村職員が団結し、市民のため日常業務にあたって頂きたいと思うが、すべての職場が必ずしもしっくりいっていないの声を聞く。

昨年大幅な人事異動で一部職員が3回も職場変更され、精神的ストレス

で休職され、今年度末20名も早期退職者がいると聞く。所得税還付問題も影響し職員間の融和に努めることが特に求められる。

最終日副市長人事案件に付き、職員間の融和に努め清潔で公正、平等で人格等立派な方を選任して戴くことを切に願います。

答弁 市職員研修について人材育成の基本方針に伴い職場外研修を含め市民ニーズにこたえられる職員育成に努めてきた。

又、人事異動については自己申告を基にさまざまな角度から勘案し実施してきたが、職員の転任、健康上の問題で異動が多く、配属年数が短期でやむを得ない場合もあった。

合併7年目迎え、分庁舎方式、福利厚生面で職員間の交流、融和を図り、職員の意識改革、接遇改善を図っていきたい。

副市長人事に付き立派な方を選任して戴ける様調整中である。

(安藤 武記)

一般質問



・所得税不正還付問題について ・過去の質問のその後の経過について

稲田 修 議員

所得税不正還付問題について

質問 旧角館町の所得
税の不正還付問題
については、現職の職員
の処分等の解決では市民
は理解も納得もしてい
ない。

刑事、民事、時効等い
ろいろ問題はあろうと思
うが当時の最高責任者に道
義的な責任はあるのかど
うなのか。

答弁 昨年12月に調査
委員会への報告書、
市民検証委員会の報告書
を持参して結果を報告し
ている。

その際、このような事
案があったということに
ついて認識はなかったと
いう話を伺っている。

自分の政治的スタンス
から行くと、当然責任
を逃れるものではないと
思っている。そういう考
え方から返還会にご協力
いただければと思ってい
る。

質問 現職の職員が26
名処分を受け、若
い職員程重い結果になっ
ているが理解できない。
勤務情報を開示できな
いのか。

答弁 今回の処分につ
いては調査結果を
精査し、顧問弁護士から
も指導を受け断腸の思い
で毅然とした対応をし
た。

停職を受けた職員は税
務課に4年～8年在職し
ていた。

質問 職員の定期的な
異動が行われてい
ればこのようにはならな
いのではないか。

答弁 同感である。
コンプライアンス
をもった職員で、違法
行為はいけませんと言
者がいなかったのが残念
でならない。

質問 責任をはっきり
させるためにも民
事でも告訴する考えはな
いのか。

答弁 告訴に耐え得る
条件をすべて整え
なければならぬ。

時間の流れから証拠書
類等を整えることが難し
い大変残念な状況であ
る。

質問 合併前に起きた
ものをなぜ仙北市
全体でという疑問が市民
間にある。きっちり開示
していかねばしこり

が残る。市民感情をどう
捉えているのか。

答弁 行政というのは
連続して現在があ
る。合併して一つの家族
になったのであり、この
事案に対しては市民は仙
北市の市民だと思いで、
今の仙北市が抱える
問題だと思っていただ
き

たい。
そうでなければ次の仙北
市を作るエネルギーが拡
散してしまう。

過去の質問のその後の経過について

質問 過去に質問した
少子化対策、高齢
者対策、市民サービス、
人口減少対応はどうなっ
ているのか。

答弁 少子化対策では
新たに、特定不妊
治療費の助成を県の助成
に上乘せしての制度を実
施したい。

子供に対する福祉医療
助成費を小学校卒業まで
の拡充策をとり、小学校
の医療費無料化とそれを
中学校まで拡大を検討し
たい。

保育所の待機保留児童
対策で角館保育園の増築

を行う。又遊休施設を活
用し幼児の託児事業も始
める。子育てサポーター
の育成に努めマンパワー
充実を図りたい。保育士
の6割以上が非常勤とい
う事態であり早く改善し
なければという思いであ
る。

結婚支援についても行
政も出会いの応援隊とし
て果敢に挑戦していき
たい。民間でも動きがあり

期待している。
年々高齢化が進んで
いる中で屋根の除雪や
空き家対策、流雪溝の
問題も議会と協議して参
りたい。

除雪に関しては要援護
世帯から地域の方々から
支援をいただき感謝して
いるという話をいただ
いている。

(荒木田俊一 記)



所得税還付問題の市民検証委員会の答申に市民は納得しているだろうか

一般質問



・市立角館総合病院の改築について ・今後の市財政のありかたについて

民政会議 阿部則比古 議員

市立角館総合病院の改築について

質問 市唯一の救急病院として、市の人口分布の重点点近傍にあり、市民全体に公平性を担保でき、最も交通の便の良い、国道46、105号線の交点である城廻地区周辺が何故主たる候補地として考慮されなかったのか。

答弁 候補地選定は建設計画選定委員会での審議結果により市内4ヶ所の候補地が選定され、市の重点点に近い角館東小学校も選定されている。又、議会の病院建設特別委員会からも建設用地についての中間報告で落合地区が相応しいとの報告を受け、これを尊重したいと思っている。

質問 市内唯一の救急病院が落合地区に建設されると、角館地区に比して西木、田沢湖地区は救急患者の病院到達時間に重大な不公平が生じる。しかも西木地区は高規格救車にもなっていない、まさに憂慮すべき事態だ。通院の利便性、交通費に関しても大きな

不公平が生じる。2方向を大きな川で囲まれた、まるで城でも造れば良いような交通の便の悪い他市との境界になぜ基幹病院を建設しなければならぬのか。財政上の問題点からしても本市の医療体制の合理的な再編がこれでは今後不可能になる。

答弁 病院へのアクセス、救急搬送時間や田沢湖病院及び西明寺・神代診療所等の連携や交付税措置等財政的な要件も視野に入れ、あらゆる角度から検討がなされたこと認識している。特に患者動態では入院・外来を合わせて大仙市が占める割合が2割近い実績もあり旧中仙地区等の動向に配慮すべき必要がある。

質問 病院経営が極めて厳しい状況にある。激しく人口減少が進む中、財政難に加えて質の高い医師や看護師が今後とも十分に確保出来ない現況下で、中途半端な自治体病院を2つ抱え続けることは市民に対する取返しの付かない欺瞞で

ある。人材も資金も設備も医療器材も一極に集中して、少しでも市民に質の高い医療を提供すべく努めるのが行政、或いは政治家としての当然の責務だ。後世の批判に全く耐えない理解に苦しむ愚策だ。

答弁 一極集中による経営の効率化と良質な医療を提供すべきが行政としての責務であるという考えはもつともだ。自治体病院の使命と役割を認識しながら開業医の方々、また診療等を含めた病院・診療所相互の連携強化を図る必要がある。私の今のスタンスとしては、病院経営を一先懸命自治体が試行錯誤をしながらも携わる必要があると思う。その仕掛けづくりに医療局が出来た訳であり、効率性の高い病院経営や人事の交流を業務として行い、その成果がいずれ上がって来ると考える。

質問 今後の市財政のありかたについて
市民が減少し続ける中、自主財源

が今後大きく落ち込み地方交付税も人口減少に伴って減額される。先行きの展望のないまま、なぜ職員の採用を増やしているのか。

近隣の大仙、横手、湯沢市に比して、市民に対する相対職員数が仙北市は異常に多い。

新たなセクションを作って職員を貼り付け、足りなくなったらからと新たに職員を採用することは止めて頂きたい。今後は歳入が減少し続け、相対的に経常経費の比率が上がり、財政の硬直化が一層顕著になる。将来財政破綻も懸念される。今後職員の採用はよほど慎重に、且つ財政にはもつとシリアスに取り組まなければいずれば大変な状況になる。

答弁 職員の採用は定員適正化計画に基づいている。合併後の第一次、第二次各5ヶ年計

画で27年まで95人削減して764人体制を目指している。職員の減少に伴い市民サービスの低下が危惧される。増大する行政需要に的確に対応して行くために総合的に判断して新規採用人員を決めている。人件費は昨年度から1億5千万円以上減額になっていて、予算に対する構成比でも減少している。

(門脇民夫 記)



病院建設予定地（落合）